

# 福岡小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

本校では、地域の特色ある史跡や公園、そして地域性の高いさまざまな行事を授業に取り入れることにより、地域に関わり、地域に愛着をもつ子の育成を旨とした教育活動を実践してきた。とりわけ総合的な学習や生活科では人・もの・自然と積極的に関わりをもつことで、地域に学び、関わりを深める子どもを旨してきた。校区の自慢できる場所の発見とその紹介、校区在住の人材の魅力的な生き方、また、校区のためにボランティアを続ける方々の思いなど広く学ぶことができた。

## ・活動の実際

### ① 地域の「もの」「自然」との関わり ～福岡ウォーク～

地域と子どもたちのふれあい活動の場として位置づけ、1～4年生が10月に実施をした。子どもたちは、事前に校区の史跡や公園などを調べ、郷土の状況を把握するようにしていた。調べて関心をもったことや疑問に思ったことを見たり、聞いたりして探求できた。取材やインタビューをすることで地域とさらなる関わりをもつこともできた。

当日は校区自治会や保護者ボランティアにも協力をいただき、施設の案内や立哨指導をしていただいた。なまず池、正光寺、橋良神社、小池神社、橋良町公民館、スポーツ広場など、校区の各所で歴史や伝統、住民との関わりなど積極的に学びを深める姿があった。

この活動を通して、地域の方とのふれあいや新たな発見などを体験することができ、地域への愛着を深めることができた。活動後には、学習のまとめとして新聞づくりなどを行った。他学年の児童や地域の人へ校区のよさを発信した。



スポーツ広場の由来を教えてください

### ② 地域の「人」との関わり ～米作り・働く人に学ぶ会～

毎年、バケツを使った米作りを行っている。校区に住む農家の方を講師として招き、田植えのための土作りや苗の植え方について教えていただいた。長期休業中の世話についてのアドバイス、精米・脱穀まで支援をいただいた。



稲の植え方を助言してもらおう

実際に話を聞く中で、現在の米作りにおける問題点についても学びを深めた。さらに、日本の主食である米への愛着を深め、農家の方の苦労や努力、昔の人の知恵のすばらしさを学んだ。

また、6年生では将来の夢について学習をしている。それにあたって、地域で働く人を講師に招き、職業についてだけではなく、生き方についても学ぶ場を設定した。今年度は、「動物園職員」の方のお話を聞いた。子どもたちは講師の熱い思いにふれ、働く意味を見つめ直した。自分の将来についても考える機会となった。



仕事のやりがいについて聞く